

令和6年度

大阪教育大学

# 附属学校園案内

## 教員人事交流制度について

Schools Attached to Osaka Kyoiku University



国立大学法人

大阪教育大学



理事・副学長(附属学校担当)  
附属学校統括機構長  
藤井 睦子

## 未来教育の創造と実践に向けて

急激に変化する時代の中で、未来を担う子どもたちを育てていくために、主体的・対話的で深い学びをはじめとする「令和の日本型学校教育」の構築が求められています。

大阪教育大学は、教員養成フラッグシップ大学として、「令和の日本型学校教育」を担う教師の育成を先導し、多様な主体とともに未来教育を創造し発信する取組を進めています。11の附属学校園は、大学と連携しながら、これからの社会に求められる教育の形を模索し、教育実習を通じて教師の育成を担っています。

各附属学校園では、探究的な学習や教科横断的な学びなど、それぞれ特徴的な教育活動や教育研究を行っています。附属学校園の教師としての経験は、これからの教育を改めて問い直し、実践する機会となるはずで。また、交流により得られた知見や産学とのネットワークは、将来の教育活動にも大いに生きることでしょう。

チャレンジ精神と熱意をお持ちの先生方にぜひ来ていただき、附属学校園という場で、未来教育を創造し実践いただくことを心より期待しています。

## 附属学校統括機構

令和2年度に大学と附属学校園をつなぐ組織として附属学校統括機構を設け、その機構のもとに高等学校3校舎を含む11の附属学校園(幼稚園:1園、小学校:3校、中学校:3校、高等学校:1校3校舎、特別支援学校:1校)を統括する体制へと改革しました。

附属学校統括機構は、円滑な学校園の運営、指導、教育、研究及び学校安全等の充実を図るとともに、さらに大学部局との連携強化に取り組んでいます。

また、附属学校園にあっては、大学の教育研究・教育実習の場として重要な役割を果たすとともに、それぞれ地区ごとにテーマを持って研究に取り組み、連絡進学をはじめとする相互連携も行っています。



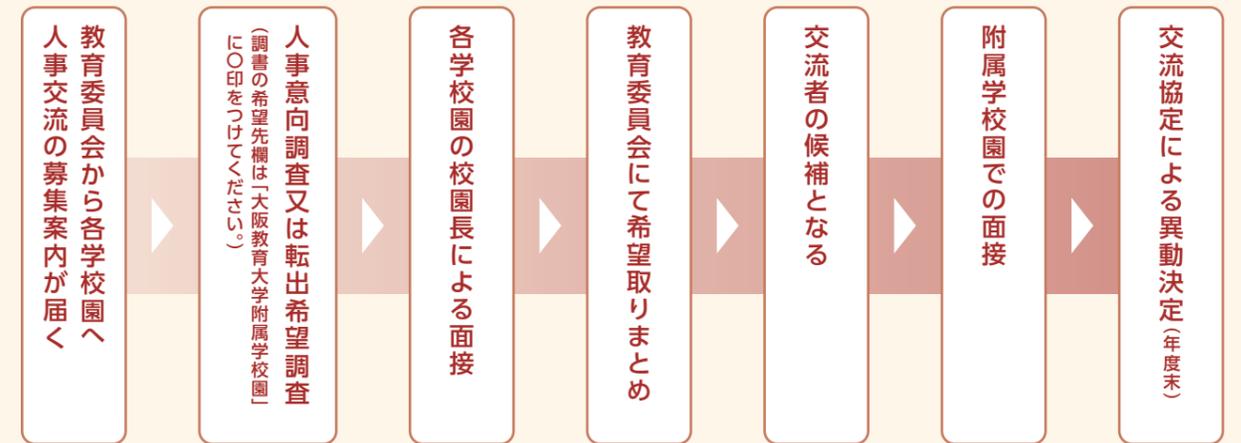
## 大阪教育大学附属学校園で働いてみませんか

### 人事交流とは…

大阪教育大学は、大阪府及び府内市町村の教育委員会と、人事交流に関する協定を結んでいます。この協定のもと、現在11の附属学校園の教員の約6割が、人事交流制度による先生方であり、教育実習や研究活動等の中心となって活躍しています。人事交流の手続きは次のような流れになります。

※各附属学校園において、その年度の人事交流枠がある場合に限りです。

### ◎人事交流の流れ(教育委員会により異なる場合があります)



### 附属学校園でできること

- 各附属学校園の設定課題に基づいた研究活動を通じて、教育実践の視野と力量が広がります。様々な研究発表の機会があります。国の委託事業等、先進的な教育研究を推進していますので、自身の資質向上はもちろん、交流元に戻られてから還元できる知識・経験・能力を得られるよい機会となります。
- 自分の設定したテーマで、教科や生徒指導に関する研究ができます。
- 教育実習生の指導を通じて、自らの実践を見直し教師の在り方を常に振り返ることができます。
- 連合教職大学院への内地研修制度が利用できます。(ただし、毎年度推薦枠に限りがあります。)
- 本学附属学校園には、多くの自治体から教員が人事交流で来られており、日常的に異なる校種の教員や大阪教育大学の教員と連携・協働して教育研究活動を行える環境です。

### ◎附属学校園人事交流状況

令和6年5月1日現在 ※病欠休暇取得者・産前産後休暇取得者・育児休業者を含む  
(臨時的雇用は、病欠休暇取得者・産前産後休暇取得者・育児休業者の代替者を含む)



# 天王寺地区

**研究テーマ**  
(平成22年度～) **人間と科学の調和を拓く  
リテラシー教育**

物事に対する知的好奇心を基礎に、科学的・論理的な知識や技能を活用し、課題の発見や解決への道を体験的な学びを通して開拓していくリテラシーの育成をめざしています。

TENNOJI District

## 附属天王寺小学校



本校は、長年教科研究を深めるべく、校内研修・校内研究を推進し、その成果を発信しています。平成30年度には、文部科学省の委託事業を受け、働きやすい環境づくりをめざして、業務改善を進めました。令和2、3年度には、国立教育政策研究所の教育課程指定校として「教科横断的な学習としてのSTEAM教育」を推進し、令和元年度から設置している「ぼうさい科」も含めた汎用性の高いカリキュラムの開発に力を注いでいます。

# 池田地区

**研究テーマ**  
(令和5年度～) **グローバル社会を協働的に  
創造する資質・能力の育成**

持続可能な社会の実現に向けて、「安全」等の様々な課題を自分のこととして捉えられるよう、そして、多面的な視点で論理的・批判的に考え、主体的に学び続けることで、VUCAの未来を自主・自律の精神をもって生きてゆくことができる資質・能力の育成をめざしています。

IKEDA District

## 附属池田小学校



学校安全の取組が認められ、平成27年3月に日本で最初のセーフティプロモーションスクールに認証されました。「安全教育」「道徳教育」「協働活動」を通じて、自他の命や考えを大切に、共によりよい社会を築こうとする資質を養う教育を行っています。また、教育研修会を開催し全国の教員の方々と交流して、よりよい授業づくりの研究を推進しています。

## 附属天王寺中学校



「質実剛健」の校風を持ち、歴史と伝統を誇る「天王寺学びのもり」から多くの有為な人材を輩出してきました。本物体験とコミュニケーション能力を高める場が数多くプログラムされています。さらに、新しい文化や情報の発信を行い、教員・生徒をはじめ保護者やステークホルダーすべての人々の力を結集して、「学びたい学校、学んでよかった学校、学ばせたい学校」をめざしています。

## 附属高等学校天王寺校舎



生徒の自主的な創意工夫を尊重した、協働的な学習・教育環境を作っています。本物・実物の体験を重視し、生徒の自治会活動なども含め、多様な知的好奇心に応える活動の場を提供しています。スーパーサイエンスハイスクール(SSH)第3期がはじまり、国際的に協働する文理融合型学習者の育成を目指し、姉妹校である米国、タイの理数科高校との交流も積極的に進めています。

## 附属池田中学校

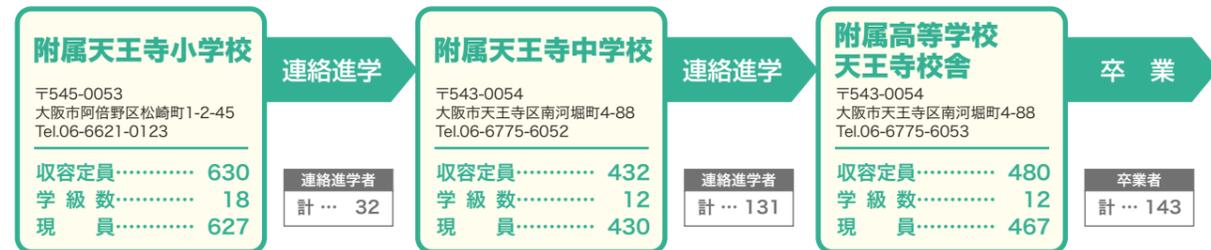


自主・自律の精神のもと、コミュニケーション力、探究力を重視し、「安全教育」「道徳教育」「地域活動」を通じて、世界や社会の課題に向き合い、多様な人々と共に生きる豊かな心を育む教育を行っています。また、平成27年3月にセーフティプロモーションスクールに認証され、令和2年1月に国際バカロレアワールドスクールに認定されました。

## 附属高等学校池田校舎



自由・自主・自律の校風のもと、生徒一人ひとりの個性を大切にしながら、「安全教育」「国際教育」「創造活動」を通じて、持続可能な社会の実現に向けた課題を世界の人々と協働して創造的に解決する力を養う教育を行っています。令和2年度からWWLコンソーシアム構築支援事業の共同実施校となり、令和4年3月にはセーフティプロモーションスクール認証校となりました。



●数字は令和6年5月1日現在



●数字は令和6年5月1日現在

### ◎ 労働条件・環境

交流協定により公立学校から人事交流で大阪教育大学附属学校園に採用される教員の処遇については、国家公務員の処遇を参考に、就業規則等で規定しており、概要は次のとおりです。

給与は、基本給に教職調整額、義務教育等教員特別手当、地域手当、通勤手当、住居手当、扶養手当、基本給の調整額、管理職手当、特殊勤務手当などが勤務条件等により加算され、原則として毎月21日に支給されます。期末・勤勉手当は原則として6月30日及び12月10日に支給されます。

勤務時間については、各附属学校園の勤務実態等を考慮の上「1年単位の变形労働時間制」を適用します。この制度は、業務に繁閑のある事業場において、繁忙期に1日の労働時間を長時間に設定し、かつ、閑散期に1日の労働時間を短時間に設定したり、休日を増やしたりすることで労働時間を効率的に配分しようとするものです。

年次休暇は、1年につき20日が与えられ20日を限度として翌年に繰り越すことができ、最大で40日付与されます。また、1時間単位での取得が可能です。

病気休暇は、連続90日(病気休暇と病気休暇の間隔が実勤務日数20日に満たないものは連続とみなす)を超えることができません。

年金・退職手当は、双方で通算されます。

なお、公務員ではないため、雇用保険や労災保険が適用されます。

共済組合は、文部科学省共済組合に加入し、健康保険及び年金(第2号厚生年金被保険者)の適用を受けます。年金は、制度により国家公務員共済組合と地方公務員等共済組合での加入期間が通算されます。

(上記内容は、今後変更される可能性があります。)

労働条件に関する詳細については右のQRコードで確認できます。ご不明な点等ございましたらお問い合わせください。



人事課人事係 E-mail:ninyo@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

### ◎ 研究会 参画状況

大阪府内をはじめとする、保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、教育委員会、大学及び各種学会・研究会などの依頼を受け、講師、発表者、パネラー、研究協力者として多数の教員が参画しています。

各校種からの参画者数(のべ人数)は下記のとおりです。

- 附属幼稚園 …………… 4人
- 附属小学校 …………… 115人
- 附属中学校 …………… 67人
- 附属高等学校 …………… 32人
- 附属特別支援学校 …… 53人

合計…271人

※令和5年度実績

### ◎ 大学院での研修について

より高度な知識を習得し、資質・能力の向上を図り、そこで得た知識・実践力などを附属学校園に還元するシステムとして、内地研修制度があります。

研修期間は2年で、研修期間中も給与は通常どおり支給されます。研修は、本学大学院連合教職実践研究科(教職大学院)でのみ可能です。オンラインの活用等により、柏原・天王寺両キャンパスの科目が履修できます。

入学選考があり、検定料、入学料は個人負担となりますが、授業料が免除されます。  
※「スクールリーダーシップコース」は夜間のみ開講

### ◎ 教育実習について

教員を養成する上で、最も重要とされるものの一つに教育実習があります。附属学校園では、年間を通じ、数多くの教育実習生を受け入れています。

小学校…187人、中学校…125人、高等学校…42人、  
幼稚園…17人、特別支援学校…20人

※令和5年度本学学生の受入実績

# 平野地区

## 研究テーマ

(令和6年度～)

新しい社会を創造する子ども一人ひとりの育成を目指した教育課程の実施と教育評価 ～「かかわる」「つくる」ことを通して～

すべての校種が近接する地区の特色を生かし、五校園が日常的に連携して子どもたちの交流・共同学習や教員の協働と研究を進めています。なかでも、幼稚園から高校まで学び続ける環境と特別な支援を得ながら育つ環境に基づく、全国的にもめずらしい「五校園共同研究」に取り組み、長期的な子どもの成長の視点にたった主体性の育成や探究的な学びの指導など、今日的な教育課題に焦点をあてた研究に進んでいます。

HIRANO District

## 附属平野小学校



教育目標「ひとりて考え ひとと考え 最後までやりぬく子」を基盤とし、令和6年度より、文部科学省研究開発学校に再度指定されたことを受けて、新教科「未来探究科」を新設し、「未来をそうぞうする子ども」の育成を目指して研究を進めています。教職員・保護者・卒業生・地域が一体となって、子どもたちの健やかなる成長に向けて、特色ある学校づくりに取り組んでいます。

## 附属高等学校平野校舎



1学年120名という学校規模と令和2年度より指定を受けたワールド・ワイド・ラーニング(WWL) コンソーシアム構築支援事業拠点校としての強みを生かした教育活動を展開しています。少数精鋭・創造探究・自主自立の教育方針のもと、国内・海外の大学・高校・協働機関・平野五校園等と連携し、ホンモノとの出会いと深い学びから何事にも臆することのない探究心を育み、多文化・多様性を理解し世界で活躍するグローバルリーダーの育成に取り組んでいます。

## 附属幼稚園



「すこやかに、あたたかく、遊びに生きる子ども」という教育目標のもと、主体的に生活する子どもの育成をめざしています。園内の豊かな自然環境(実のなる木、様々な動物等)、ものや身近な人々との関わりを通して学びが深まるよう取り組んでいます。また、保護者による「手づくり給食」を実施し、保育内容にも食の関心に繋がる内容を取り入れながら食育を推進しています。

## 附属平野中学校



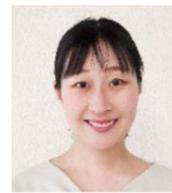
本校では、学び続けるために必要な基礎基本として、「かかわり、つむぎ、おりなし、つくる力を育む」ことをめざしています。学校と家庭、地域が一体となり、さらに平野地区五校園の叡智を集結しながら教育実践を重ねています。また、「附中生は行事で育つ」といわれるように、授業だけでなく特色のある学校行事も活かして、自律への意志や協働への意欲を高めています。

## 附属特別支援学校



本校は、知的発達障害のある児童生徒が学んでいる学校です。一人ひとりの存在と個性を尊重した教育支援を日々実践しています。小学部から中学部、そして高等部まで一貫したキャリア教育の視点を取り入れ、自ら考え行動できること(自立)、仲間と支え合い共に活動できること(相互依存)、主体的に社会に関われること(社会参加)を目標として、子ども・保護者・地域にとって魅力ある学校づくりに取り組んでいます。

## 人事交流により附属学校園で勤務されている先生方の感想



髭 郁実 教諭

好きな遊びの時間が十分に保障されており、子どもたちが自分のしたいことを選んで、モノや人と存分に関わりながら遊ぶ。本園の遊びは、ゆったりとした時間の流れの中にあります。昨年度より本園に赴任し、「自分のよさや可能性に気付く保育の在り方を探る」という研究テーマのもとで保育をしています。子どもの姿について教師間で話す機会も多く、いろいろなお見方、考え方から子どもを捉える

ことができます。一人ひとりの姿を丁寧に見取り、保育に生かしていくことで、子どもたちがより遊びを楽しめたり、遊びが広がったりするという、保育の原点ともいえるところに立ち返る機会をいただいているように思え、学びが多い日々です。これからも、恵まれた環境で学び続けられることに感謝しながら、努力を重ねていきたいと思っています。

附属幼稚園 勤務

交流元:大阪市教育委員会(交流2年目)



吉岡 克樹 教諭

「教師として仕事の幅を広げたい。」私が附属天王寺小学校への人事交流を決めたきっかけです。実際に赴任して感じたことは、附属学校ならではの学びの機会に恵まれているということです。様々な教科を研究されている先生方と授業に関して意見を交わせることや、考えもつかなかった視点でアドバイスを頂くことができます。保護者の方のこ

支援・ご協力も絶大で、子どもたちの夢を引き出すための選択肢がたくさんあります。ここでしか体験できないような行事もあり、前向きな子どもたちと作る時間に多くの刺激をもらっています。日々成長するチャンスが転がっている環境で、学び続けることができることに感謝し、これからも色々な経験を積んでいきたいと考えています。

附属天王寺小学校 勤務

交流元:堺市教育委員会(交流2年目)



萩谷 桃子 教諭

私が附属池田小学校に赴任して、一番感じたことは、教師としての学びの環境に恵まれていることです。研究授業の数が圧倒的に多く、授業者としても、参会者としても、多くの先生方と意見を交わし、授業研究をすることができます。また、本校の授業では、子供たちが目の前にあるさまざまな課題に夢中になって取り組む姿や、「もう少し時間がほし

い。」「つぎはこんなこともやってみよう。」などの声をよく聞き、子供とつくる学びの実践が日々行われています。このように、高い意識をもって学び続ける先生方と子供たちに多くの刺激をもらっています。附属学校という環境で、私自身も教師として学び続けることができることに感謝し、これからも色々な経験を積んでいきたいと考えています。

附属池田小学校 勤務

交流元:大阪府豊能地区教職員人事協議会(交流3年目)



井場 恒介 教諭

「ワクワクする授業・学びを生徒としたい」という思いで附属中学校に来ました。池田地区は「グローバル社会を協働的に創造する資質・能力の育成」を研究テーマに掲げ、急速なグローバル化とAIの発展に伴うVUCA時代に対応するための資質・能力を育むことを日々研究しています。本校の教職員は授業や教育に対する意欲が高く、チャレンジ精神に溢れています。私自身も職員室では教科を越えて意見交換を行い、

新しい知識や考えに触れることで充実した生活を送っています。また、大学の先生や他校の先生とも連携し、より良い学びを追求しています。生徒がより良い学びを得られるよう、私自身も新しいことにチャレンジしながら学びを深めています。授業では、実生活の文脈における課題を設定し、個人追究やグループディスカッションを取り入れ、生徒一人ひとりが主体的に考え行動する力を養うことをめざし、日々取り組んでいます。

附属池田中学校 勤務

交流元:大阪府教育委員会(交流3年目)



水谷 文信 教諭

変化が激しく、予測不可能な社会といわれて久しくなりました。私が教員になってからも求められる学習観や社会における学校の位置づけが絶え間なく変化しています。

平野地区は五校園が近接しているため、異なる校種の先生方と普段から協力して、課題解決が難しい教育課題について、大学の協力も得ながら研究を行うことができる点が最大の魅力です。評価が難しい「主体性」について、

主体性コモンブリックを活用して、子どもたちの成長を生涯発達の視点で見取り、国内外の研究機関と連携して探究学習を指導する経験をおして、私自身も子どもたちとともに成長することができました。附属学校の恵まれた環境で得た知見をこれからも発展させ、大阪府の教育力向上に貢献していきたいと考えています。

附属高等学校平野校舎 勤務

交流元:大阪府教育委員会(交流5年目)

連絡進学者  
計... 58

連絡進学

### 附属幼稚園

〒547-0032 大阪市平野区流町2-1-79  
Tel.06-6709-9400

収容定員... 150  
学級数... 6  
現員... 133

### 附属特別支援学校

〒547-0027 大阪市平野区喜連4-8-71  
Tel.06-6708-2580

収容定員... 60  
学級数... 9  
現員... 58

### 附属平野小学校

〒547-0032 大阪市平野区流町1-6-41  
Tel.06-6709-1230

収容定員... 630  
学級数... 18  
現員... 624

連絡進学

連絡進学者  
計... 66

### 附属平野中学校

〒547-0032 大阪市平野区流町2-1-24  
Tel.06-6709-9600

収容定員... 324  
学級数... 9  
現員... 321

連絡進学

連絡進学者  
計... 63

### 附属高等学校平野校舎

〒547-0032 大阪市平野区流町2-1-24  
Tel.06-6707-5800

収容定員... 360  
学級数... 9  
現員... 347

卒業

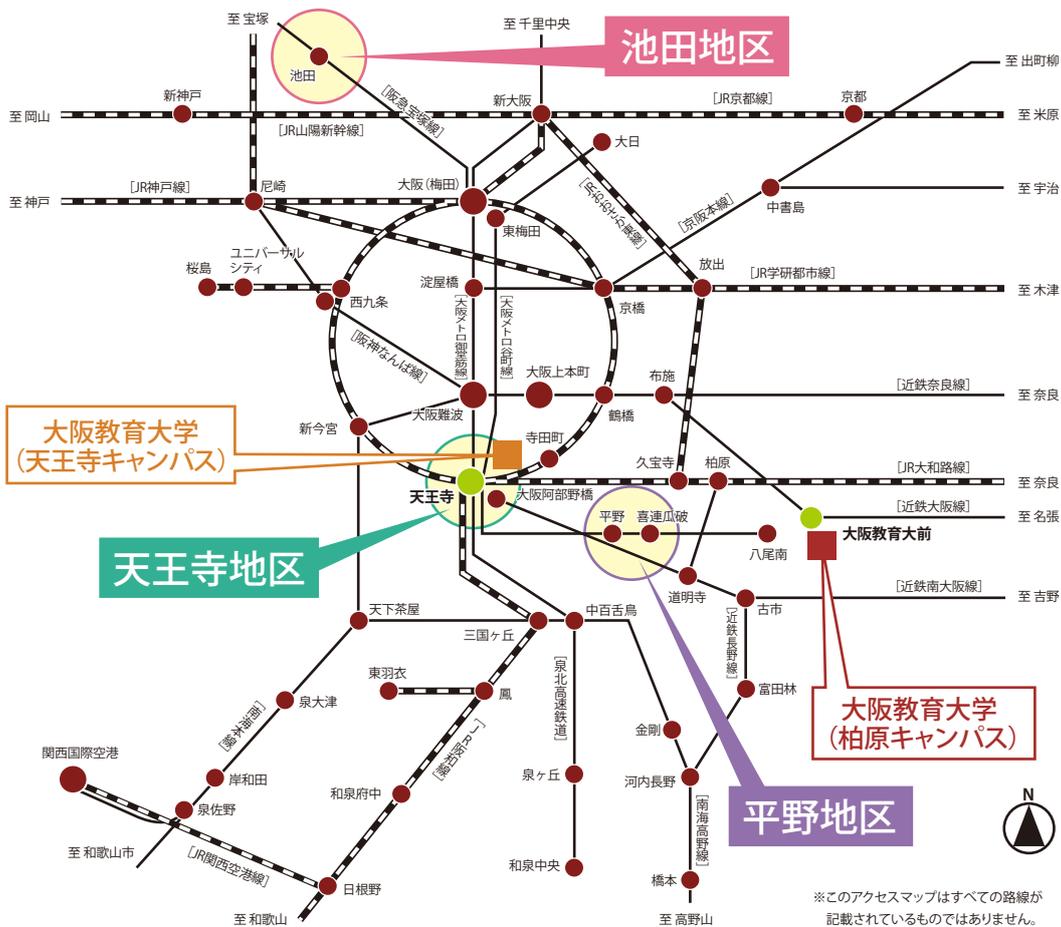
卒業生  
計... 115

●数字は令和6年5月1日現在

## 各附属学校園の研究発表会等予定

附属学校園では下記の日程で研究発表会等を予定しております。詳細につきましては、各学校園のHPをご覧ください。

■附属天王寺小学校	令和7年1月31日・2月1日	研究発表会	■附属池田小学校	令和7年2月22日	教育研修会
■附属天王寺中・高等学校	令和6年11月9日	教育研究会	■池田地区	令和6年11月16日	研究発表会
■附属平野小学校	令和7年2月7日・8日	教育研究発表会	■附属特別支援学校	令和7年2月8日	研究大会
■附属平野中学校	令和6年11月2日	研究発表会	■附属幼稚園	令和7年1月25日	研究発表会
■附属高等学校平野校舎	令和6年11月16日	教育研究発表会	■平野五校園	令和6年11月2日	研究発表会



編集発行

大阪教育大学附属学校統括機構

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

E-mail fuzoku@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

Tel.072-978-4017 Fax.072-978-3262

大阪教育大学Webページ  
<https://osaka-kyoiku.ac.jp/>